

こころの駅舎 がん患者さん

第5号(平成30年10月25日)

「こころの駅舎」発行

(協力:地域連携室あざれあ)

“あるある”かわら版

むくみ…?

No.5 さっちよこ 作

あるあるメモ

がんの治療において、手術でリンパ節を取り除いたり放射線治療によってリンパの流れが滞ることで、腕や足、顔などがむくむことがあります。これは乳がんなどの治療による後遺症の一つです。顔のはりを喜んで厚化粧で出かけようとしているそのあなた!むくみの悪化に気づくのが遅れるかもしれませんよ!ご要注意あれ。

「こころの駅舎」
七不思議

「こころの駅舎」の入口には、季節に合わせたリースが飾られ、あたたかな雰囲気に参加者を迎え入れてくれます。このリースは、がん患者さんのご家族の手作りです。


この集いに流れる和やかな空気感は、このように参加者から自然に醸し出され、不思議な調和を生んでいます。
♪♪♪<「こころの駅舎」七不思議 数えうた>♪♪♪
一つリースでお出迎え～♪ 二つ季節の花がある
三つタクティールに癒されて～♪四つ支援者お手伝い
五つ壁にはパッチワーク～♪ 六つ体験次世代に
七つ集いで和気あいあい!
なぜか不思議と来たくなる～♪会うのが楽しみ皆さんに!

まあ おばちゃんの 独り言

「こころの駅舎」は、がん患者さんやご家族をはじめ、医師、薬剤師、看護師、東広島市健康増進課の職員など様々な支援者が集う会なのよ。またがん患者さんの中には広島県が養成した第1期の「がんピアサポーター」もいて、患者の立場で患者さんやご家族の不安や悩みを軽くする手助けをしてくださっているの。参加される皆さんのお話を聞いていると、いつも前向きに生きる力をもらえるわ!



“あるある”ネタ大募集!!

 がん患者さん・ご家族・
支援者を問わず、これまでに
経験した、「こんなことあるよね
〜」という“がん あるある体験”
をご紹介ください。

“あるある”かわら版を通して
みんなでがん体験を共有する
ことが、“がん”を乗り切る力
になれば・・・と考えています。



- 毎月第4木曜日
- 開催形態
イベント型（4月、8月、12月）
定期型（上記以外の月）
- 東広島芸術文化ホール
くらら
東広島市西条栄町7番19号



第 5 号



一般社団法人 東広島地区医師会
地域連携室あざれあ
電話：082-493-7360
FAX：082-493-7361

